

平成 23 年度 地産地消推進状況報告

平成 22 年 3 月に邑南町における地産地消推進の基本的なルールを定めた「邑南町地産地消推進条例」を施行してから、2 年が経過した。本報告は、邑南町地産地消推進条例第 8 条第 2 項の規定に基づいて、地産地消推進状況の平成 23 年度実績についてまとめたものである。

I 取り組みの成果

1. 重点推進項目

(1) 学校給食

① 平成 23 年度実態調査

学校給食における町内産品の使用実態について、納入伝票のデータを基に調査を実施
《学校給食における地産地消の実態》

㊸金額ベース(概算)

単位：千円

品目	H 2 3			H 2 2		
	仕入金額	うち町内産	町内産使用率	仕入金額	町内産	町内産使用率
米	3,725	3,725	100.0%	3,827	3,827	100.0%
野菜・果樹	6,736	2,706	40.2%	7,287	2,275	31.2%
牛肉	1,870	1,870	100.0%	1,721	1,721	100.0%
豚肉	815	0	0.0%	874	0	0.0%
鶏肉	1,819	-	0.0%	1,620	-	0.0%
たまご	277	277	100.0%	381	381	100.0%
小計	15,242	8,578	56.3%	15,710	8,204	52.2%
牛乳・乳製品	8,149	-	0.0%	8,147	-	0.0%
冷凍・加工品	24,403	171	0.7%	24,169	110	0.5%
合計	47,794	8,749	18.3%	48,026	8,314	17.3%

※概算…産直市を町内産、商店は町外産としているが、実態は混在しており確定困難であるため

※豚肉…産地確定が困難であるため町外産としての算定

※表中の記号… 0：単位未満、-：該当数値なし

㊸重量ベース(概算)

単位：kg

品目	H 2 3			H 2 2		
	仕入重量	うち町内産	町内産使用率	仕入重量	うち町内産	町内産使用率
米	11,764	11,764	100.0%	12,104	12,104	100.0%
野菜・果樹	23,541	12,530	53.2%	21,581	8,069	37.4%
牛肉	652	652	100.0%	591	591	100.0%
豚肉	725	0	0.0%	867	0	0.0%
鶏肉	1,268	-	0.0%	1,233	-	0.0%
たまご	856	856	100.0%	1,123	1,123	100.0%
合計	38,806	25,802	66.5%	37,499	21,887	58.4%

※概算…産直市を町内産、商店は町外産としているが、実態は混在しており確定困難であるため

※豚肉…産地確定が困難であるため町外産としての算定

※表中の記号… 0：単位未満、-：該当数値なし

◎ 野菜・果物の納入割合

	H 2 3			H 2 2		
	農家・組合	産直市	商店	農家・組合	産直市	商店
金額(千円)	2,265	903	3,568	1,494	755	5,038
割合	33.6 %	13.4 %	53.0 %	20.5 %	10.4 %	69.1 %
重量(kg)	8,596	4,695	10,250	4,962	3,301	13,318
割合	36.5 %	19.9 %	43.5 %	23.0 %	15.3 %	61.7 %

② 学校給食の現状分析

- ・生鮮野菜等の地産地消率を向上させるには、J A等との連携による給食向けの生産組織育成（システム構築）と野菜等の旬にあわせたメニュー作成が課題
- ・生鮮野菜等の納入率を更に向上させるには保存・加工等の取組が不可欠
- ・夏休み期間を活用し加工保存の取組と併せて保管設備が不可欠

(2) 木材利用

① 公共建築物での町産材利用基本方針

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成22年法律第36号）第9条第1項の規定に基づき、公共建築物等における木材の利用の促進の意義、公共建築物等における地元産木材の利用の目標、地元産木材の利用を推進すべき公共建築物等、地元産木材の利用促進に向けた取り組み、その他地元産木材の利用を推進する上で必要な事項を定めた、邑南町木材利用基本方針を平成24年3月に制定、平成24年4月1日より施行。

② バイオマス活用に向けた木材利用

平成23年11月より木材のバイオマス活用に向けた取り組みとして、土佐の森・救援隊の取り組みを参考とした、林地残材搬出支援実験事業を実施し、個人・団体を併せて95 t 搬出。

(3) 堆肥活用

① 既存バイオマス資源調査

前年度に引き続き調査を行い、畜産糞尿（搾乳牛、採卵鶏、肥育牛、豚）の堆肥化について検討を行いモデル案を作成した。

《搾乳牛》

	第1案	第2案	第3案
方 式	縦型コンポ	縦型コンポ +イージージェット	縦型コンポ +オープンロータリー
必要敷地面積	14,600 m ²	15,000 m ²	14,900 m ²
施設整備費(概算)	780,600 千円	805,950 千円	790,050 千円
ランニングコスト	74,752 千円/年	74,451 千円/年	72,633 千円/年

副資材	オガコ 3,650m ³ /年 廃白土 1,390 t/年	オガコ 2,190m ³ /年 木質チップ 4,000m ³ /年 廃白土 660 t/年	オガコ 2,190m ³ /年 木質チップ 4,000m ³ /年 廃白土 660 t/年
堆肥生産量	堆肥販売 4,190 t/年 敷料利用 3,330 t/年	堆肥販売 6,970 t/年 敷料利用 3,330 t/年 水分調整利用 800 t/年	堆肥販売 6,970 t/年 敷料利用 3,330 t/年 水分調整利用 800 t/年
利点	①含水率が低く安定した堆肥ができる ②季節的な影響を受けにくい	イージージェットに関して ① 切り返しが不要 ② 臭気の発生が抑えられる	ホップローラーに関して ① 堆肥の品質が安定する
課題	① 廃白土の安定した調達が必要	① ランニングコストが高い	① 臭気の発生がある ② メンテナンスに手間がかかる

《採卵鶏・肥育牛》

	第1案	第2案
方式	縦型コンポ	イージージェット
施設整備費(概算)	123,900千円	159,500千円
ランニングコスト	16,018千円/年	13,857千円/年
副資材	オガコ 690m ³ /年 廃白土 70 t/年	オガコ 敷料は個人調達 木質チップ 510m ³ /年
堆肥生産量	堆肥販売 960 t/年 敷料利用 410 t/年	堆肥販売 1,610 t/年
利点	① 含水率が低く安定した堆肥ができる	① 切り返しが不要 ② メンテナンスが容易
課題	① 臭気対策が必要	① 敷料として使用する場合には乾燥工程が必要

《養豚》

	第1案	第2案
方式	縦型コンポ	イージージェット
施設整備費(概算)	97,600千円	138,500千円
ランニングコスト	14,462千円/年	14,503千円/年
副資材	使用なし	木質チップ 1,100m ³ /年
堆肥生産量	堆肥販売 830 t/年	堆肥販売 1,060 t/年
利点	① 副資材が不要 ② 含水率の低い堆肥ができる	① 堆肥の切り返しが不要 メンテナンスが容易
課題	① 前処理が必要	① 施設整備費が高い

II 活動状況

1. 地産地消推進本部

(1) 地産地消推進本部(庁議)

開催日	内 容
6月9日	地産地消推進に関する状況の取りまとめ及び公表について確認 ・平成22年度の状況の確認
2月24日	邑南町木材利用促進に関する基本方針及び邑南町産地産地消推進計画(木材利用行動計画)について検討。結論は、次回に持ち越し。
3月12日	邑南町木材利用促進に関する基本方針及び邑南町産地産地消推進計画(木材利用行動計画)について再検討をし、内容を確認

(2) 地産地消推進会議(委員13名)

開催日	会議名等	内 容
2月16日	第1回推進会議	邑南町木材利用促進に関する基本方針及び邑南町産地産地消推進計画(木材利用行動計画)について検討。

2. 地産地消推進協議会

(1) 専門部会

① 学校給食部会

開催日	会議名等	内 容	関係者
9月27日	地元野菜利用視察(雲南市)	木次町学校給食生産者組合の取り組みについて	学校給食会 邑南農民センター
10月5日	第1回部会	学校給食事務等連絡会議 ・視察の報告会及び学習会	学校給食会 栄養教諭 学校教育課
10月25日	第2回部会	学校給食における地産地消の推進について協議	学校教育課 農林振興課
11月29日	第3回部会	地産地消に関するテーマの解決策検討会 ・地産地消の目標普及率・納入(業)者の確保 ・食材の長期保管の仕組み・給食メニューの統一化 ・地場産消費の町内施設との物資の共有化	学校教育課 学校給食会 栄養教諭
1月31日	第4回部会	学校給食等連絡会議 ・東西センター給食メニューの統一化に向け検討 ・町内野菜の東西センター共同利用難につき検討	学校教育課 学校給食会 栄養教諭

2月20日	第5回部会)	地域食材活用促進事業検討会 ・野菜「さといも」皮むき機導入について（作業、仕入値軽減・地産地消率アップ） ・サンプル送付による機械性能試験を実施 結果：皮むきの状態が充分でなく、手作業での再作業が必要と判明し導入を断念	学校教育課 学校給食会 農林振興課
3月28日	地元産製造元視察 (安佐南区)	グリコ乳業（株）広島工場見学（邑南町産生乳製造元） ・地産地消の取組への理解、共通認識	学校教育課 学校給食会 全調理員 栄養教諭

② 木材利用部会

開催日	会議名等	内 容
10月7日	第1回部会	・林業マスタープランについて 邑南町森林整備計画状況報告 ・木材利用行動計画について ・林地残材の利活用に向けた取り組みについて 林地残材搬出支援事業・搬出する団体の支援・機械講習会
1月26日	第2回部会	・林業マスタープランについて 邑南町森林整備計画状況報告 ・町産材の利活用に向けた取り組みについて 建築用材等への利用促進・林地残材の利用促進 ・先進事例視察検討
3月2日 ～3日	先進地視察 (鳥取県・岡山県)	・智頭町木の宿実行委員会における木材利活用システムの学習 ・西粟倉村の百年の森事業、学校の森での木材を使った商品作り等
3月22日	講習会	・伐採・搬出等に関する講習会 林内運搬車等を利用した材の搬出
3月28日	第3回部会	・林業マスタープランについて 邑南町森林整備計画の策定 ・木材の利活用に向けた取り組み 木材利用基本方針、行動計画の策定・供給体制の整備 邑南の家づくり支援モデル事業・林地残材の利用促進

③ 堆肥活用部会

開催日	会議名等	内 容
4月1日		バイオマス資源活用計画策定事業（緊急雇用）を(株)中国環境に委託
5月10日	意見交換会	バイオマス活用に関する関係者意見交換会
7月8日	先進地視察 (出雲市)	旧佐田町：エコプラント佐田